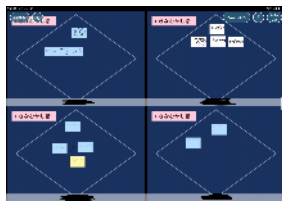
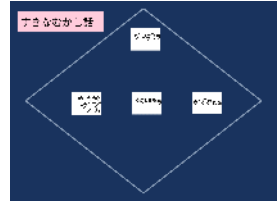
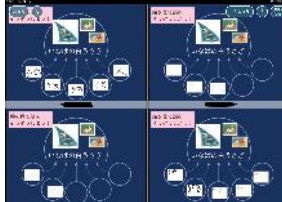
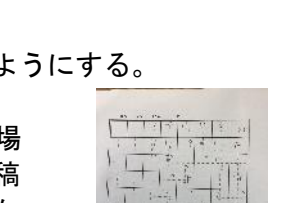
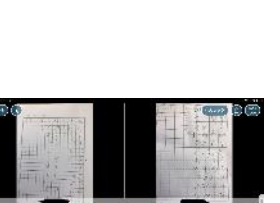
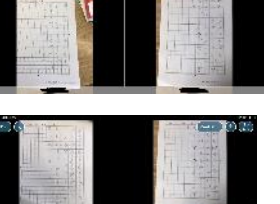
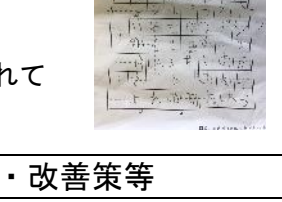
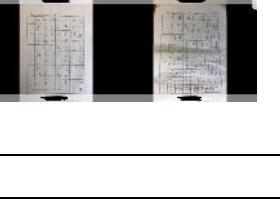


1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立岡山聾学校	実践者名	柴田 慎平
実践場面 (教科、領域、行事等)	国語科		
単元・題材名	聞いてたのしもう「いなばの白うさぎ」		
学習目標・ねらい	神話の読み聞かせを聞き、我が国の伝統的な言語文化に親しむことができる。		
対象の児童 生徒の実態	2年生はロイロノートの使い方を身に付けており、教員が手伝わなくても基本操作ができる。		
活用の概要（使用アプリ名を含む） ※写真も掲載する			
【授業】 本単元は主にロイロノートを使って授業を進めた。 (1) 知っている昔話や神話をカードに書いて、シンキングツール「ダイヤモンドランキング」にカードを並べる。 (2) ダイヤモンドランキングを提出し、友達と共有できるようにする。 (3) 教科書の「いなばの白うさぎ」の挿絵を見て、登場人物や出来事を想像し、カードに書く。そのカードをシンキングツール「クラゲチャート」に入れる。 (4) クラゲチャートを提出し、友達と共有できるようにする。 (5) 「いなばの白うさぎ」の話を聞いて、好きな場面を選び、誰がどのようなことをしたのかを原稿用紙に書く。また、なぜその場面が好きであるか理由も書く。 (6) 書いたものを写真に撮り、ロイロノートに入れて提出し、友達と共有できるようにする。 (7) 図書室へ行き、他の神話や昔話の本を選んで読み、原稿用紙に感想を書く。 (8) 書いたものを写真に撮り、ロイロノートに入れて提出し、友達と共有できるようにする。			
         			
活用のポイント・改善策等			
・ロイロノートを使うことで児童が意欲的に活動に取り込むことができた。 ・シンキングツールを使うことで、自分の考えを1枚のカードにまとめることができた。 ・提出し、共有することで、視覚的支援を行うことができた。 ・紙媒体のものをロイロノートに入れる際、カメラを使ったが、撮りにくそうだった。また、真っ直ぐ撮ることが難しそうであった。「スキャナブル」等のスキャンアプリを使えば、簡単にきれいに取り込むことができる。			